



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

2022年9月号 (316号)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 「あいち発 未来共創パートナーシップ」
～カーボンニュートラル・ローカル SDGs の実現に向けて～

「SDGs Aichi Expo 2022」を開催します (P2)



「第9回三河湾大感謝祭」を開催します (P3)



「第52回愛知県野生生物保護実績発表大会
～輝く未来の生き物サポーター～」を
開催しました (P5)



夏休み環境学習講座を実施しました (P6)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、
SDGs (持続可能な開発目標) の達成
に向けた取組を推進しています。

「環境かわら版」

Web ページは

こちらから→

今月号とバックナンバーを掲載しています。



「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催します



SDGs の達成に向けた機運醸成を図るため、「SDGs AICHI EXPO 2022」を開催します。企業等によるブース出展やステージイベント、ワークショップなど、多数の企画を用意しています。

是非ご参加ください。

なお、ステージイベントはオンラインでも視聴できます。



1 日時

10月6日(木)～8日(土) 10:00～17:00

2 会場

Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)展示ホールA
(常滑市セントレア5丁目10番1号)

3 主な内容

(1) ステージイベント

【10月6日(木)】

時間	内容	講演者等
10:00～10:05	オープニング	開催挨拶(大村愛知県知事)
10:05～11:00	SDGs経営セミナー 「実効性のあるSDGs戦略」	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 よししたか 吉高 まり氏 ほか
11:00～12:00	SDGs経営セミナー 「SDGsの最新動向とサステナビリティ戦略」	SDGsパートナーズ(有) たせ かずお 田瀬 和夫氏
12:00～13:00	SDGs経営セミナー 「脱炭素社会における経営戦略」	株式会社ウェストボックス すずき しゅういちろう 鈴木 修一郎氏
13:00～17:00	日経SDGsフェスinどまんなか 「共生・共創・イノベーションで実現する社会課題解決」	有識者による講演や企業などのSDGsの取組を紹介(日本経済新聞社・日経B.P.主催)

【10月7日(金)】

時間	内容	講演者等
10:00～17:00	日経SDGsフェスinどまんなか 「共生・共創・イノベーションで実現する社会課題解決」	有識者による講演や企業などのSDGsの取組を紹介(日本経済新聞社・日経B.P.主催)

【10月8日(土)】

時間	内容	講演者等
10:00～11:15	中部ESD拠点協議会フォーラム特別講演「SDGsと建築文化」ほか	講演: 建築家 かわやま しげる 若山 滋氏
11:30～12:00	SDGsミュージカル 「ぼくこの森に住んでいます」	劇団シンデレラ

(右段に続く)

時間	内容	講演者等
12:15～13:00	お笑いステージ 「笑って学ぼう! よしもとSDGsステージ」	フルーツポンチほか
13:15～14:15	エコサイエンスショー 「サーカスエコロジカル」 (地球環境を学ぶ実験パフォーマンス)	TEAM パフォーマンスラボ&ガチャビン・ムック
14:30～15:30	エシカル・ファッションショー	はらだ 司会: 原田 さとみ氏(エンカール・ベネロープ)
15:45～16:45	SDGsユースセッション	SDGsに取り組む学生による取組発表・ディスカッション
16:45～17:00	エンディングセレモニー	—

(2) ブース出展等

- SDGsの取組を積極的に行っている100以上の企業等によるブース出展
- 楽しくSDGsの理解を深められるワークショップ
- 会場に設置したスタンプを集める「SDGsスタンプラリー」(記念品あり)
- 知多半島の地産地消弁当や、その他の地産地消食品等の販売



昨年度ブース出展の様子

4 申込・参加方法

参加は無料ですが、公式サイトから事前の入場登録が必要です。詳細は公式サイトをご覧ください。
(<https://sdgs-aichi.com/>)

5 問合せ先

SDGs AICHI EXPO 実行委員会事務局
(株)新東通信

電話: 052-971-6233 (平日 10:00～17:00)

Eメール: info@sdgs-aichi.com

(環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン))



「第9回三河湾大感謝祭」を開催します



愛知県では、多くの県民の皆さんに三河湾に関心を持っていただくため、10月9日（日）に、西尾市の一色さかな広場特設会場において、「第9回三河湾大感謝祭」を開催します。

1 日時 10月9日（日） 10:00～16:00

2 場所 一色さかな広場特設会場

（西尾市一色町小藪
船江東 176）

3 参加費 無料

4 内容

(1) ステージ

- ・SKE48 須田亜香里さんと
竹島水族館 小林館長の
「三河湾環境トークショー」
- ・エコマジシャン・ミヤモさんの「エコマジックショー」など



須田 亜香里さん

(2) 体験型コンテンツ

- ・会場近くの干潟で行う「生きもの観察会」（事前申込制）
- ・三河湾を代表する海の恵み「アサリ」の詰め放題（計200名）

(3) ブース（一部有料の販売あり）

- ・一色産うなぎ串の無料試食（計500名）
- ・生きものタッチプール
- ・各種団体による体験・展示ブース
- ・三河湾についてのクイズラリー など

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2022mikawawan-kansyasai9.html>)



水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

あいち生物多様性保全担い手養成講座の

参加者を募集します



里山・湿地などで環境保全活動を行う保全団体等の担い手不足が課題となっています。

そのため、愛知県では保全活動に関心の高い方を募集し、今後の保全活動を担う方を養成する連続講座を実施します。

1 内容・講師等

(1) 湿地現地講座

『湧水湿地の保全管理の最前線』

講師 愛知学院大学 准教授 富田 啓介氏

日時 10月23日（日） 10:00～15:30

会場 一色町田湿地、武豊町歴史民俗資料館

(2) 基礎講座

『なぜ生物多様性を保全するのか？を考える。』

講師 名古屋工業大学 教授 増田 理子氏

日時 11月20日（日） 13:00～16:30

会場 名古屋市農業センター（天白区）

(3) 里山現地講座

『里地里山の保全管理の最前線』

講師 岐阜県立森林文化アカデミー

准教授 玉木 一郎氏

日時 12月10日（土） 10:00～15:30

会場 あいち海上の森センター（瀬戸市）

2 定員 20名程度

3 申込期間 9月15日（木）から10月7日（金）

4 申込方法

Eメール又はWebページからお申込みください。

E-mail: office@gfken.com

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://sites.google.com/view/aichi-bd-ninaite/home>)



自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475（ダイヤルイン）

「中小事業者向けあいち省エネセミナー」を 開催します



愛知県では、県内の中小事業者を対象に、カーボンニュートラルの実現に向けた CO₂ 排出量削減の取組を支援するため、省エネの取組事例や省エネ設備投資のための補助金制度などを紹介する「あいち省エネセミナー」を開催します。

会場とオンラインの同時開催となりますので、ご都合に合わせてご参加いただけます。

また、会場では、セミナー後に専門家による個別相談会（若干名）もご用意しています（セミナー、個別相談会ともに参加無料）。是非ご参加ください。

1 日時 9月30日（金） 13:30～15:40

2 会場 愛知県西三河総合庁舎 10階 大会議室
（定員50名、事前申込制、先着順）

※オンライン（Zoom）での参加も可能

3 参加費 無料

4 内容

- ・愛知県の地球温暖化対策について
- ・省エネの取組について
（講師（一財）省エネルギーセンター）

5 申込方法

以下の Web ページから「参加申込書 兼 参加証」をダウンロードし、FAX 又は E メールにより 9月26日（月）までにお申込みください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/syoene-seminar.html>)



※ 会場参加の方は、公共交通機関でご来場ください。

（地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242（ダイヤルイン））

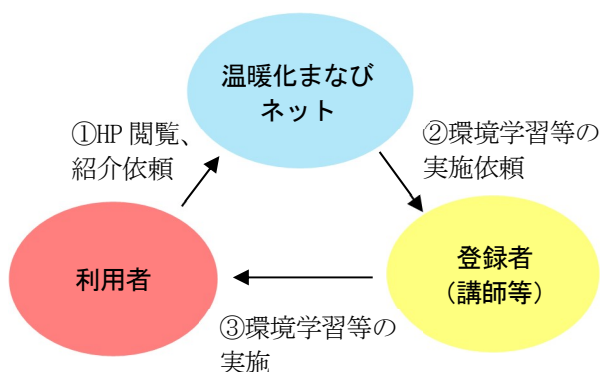
地球温暖化対策に関する講師や指導者等として 活動していただける方を募集しています



愛知県では、県民の皆さんの地球温暖化対策活動を支援するため、様々なテーマに合わせた講師や指導者等の情報を掲載・紹介する「温暖化まなびネット」を開設しています。

地球温暖化対策に関する講師や指導者等として県内で活動していただける方（個人・事業者・団体等）を随時募集していますので、是非ご応募ください。

【温暖化まなびネットとは】



環境学習講座での活動の様子（日進市）

1 応募方法

下記 Web ページから登録申請書をダウンロードし、E メール又は郵送で提出してください。

2 登録の流れ

活動実績などを審査の上、講師として登録します。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet-bosyuu.html>)



（地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン））

「第52回愛知県野生生物保護実績発表大会 ～輝く未来の生き物サポーター～」を開催しました



1 目的

愛知県では、生物多様性保全の観点から、野生生物や自然環境の保全活動を普及・啓発することを目的に「愛知県野生生物保護実績発表大会」を1971年度から開催しています。

2 内容

「第52回愛知県野生生物保護実績発表大会」を8月4日に刈谷市産業振興センターで開催し、野生生物保護等の活動を行っている12校がそれぞれの取組について発表しました。

各校の発表では、野鳥や魚、昆虫など様々な生きものの保全活動や生物調査など、学校ごとに特色のある取組が紹介されました。

コロナ禍の中でも、子どもたちの活動意欲は衰えることなく、未来を見据えた創意工夫のある取組は、自然への愛着が感じられ、多様性に富んだものでした。輝きを放った素晴らしい未来の生きものサポーターとして、今後も息の長い活動を期待しています。

発表後に行われた審査の結果、岡崎市立美合小学校、豊田市立上鷹見小学校、愛知県立佐屋高等学校の3校が愛知県知事賞に選ばれました。

愛知県知事賞受賞校の発表の様子



豊田市立上鷹見小学校



岡崎市立美合小学校



愛知県立佐屋高等学校

3 審査結果

愛知県知事賞	
岡崎市立美合小学校	しょうだ 生田蛸は「美合の宝」 ～トライ&エラー 自分で できることに 挑戦しよう 2年目～
豊田市立上鷹見小学校	自然と人とが共生するふ るさと“鷹見の里”をつく ろう
愛知県立佐屋高等学校 (愛西市)	愛西市内用水路に生息す るカメ類を中心とした生 物相
愛知県教育委員会賞	
岡崎市立生平小学校	野鳥がすみ続ける自然豊 かな『生平』を目指して
豊田市立滝脇小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	
岡崎市立河合中学校	河合の宝 ゲンジボタル ー伝統の継続 そして一 歩前進ー
岡崎市立東海中学校	未来へつなぐ 樺 ～東海の自然を次代につ なぐ～
桜丘高等学校（豊橋市）	タガメの繁殖の研究と生 息環境に関する考察
中部大学第一高等学校 (日進市)	ウシモツゴの飼育・繁殖
公益社団法人愛知県獣医師会賞	
愛知県立時習館高等学 校（豊橋市）	夏の三河湾と周辺地域の 環境と魚類調査 ～環境 DNA 網羅的解析～
愛知県立三谷水産高等 学校（蒲郡市）	野生生物を守るために、水 産高校生にできること
愛知県立明和高等学校 (名古屋市東区)	明和高校周辺のタヌキ調 査

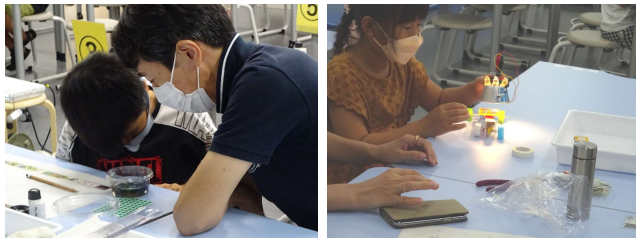
自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)

夏休み環境学習講座を実施しました



愛知県環境調査センター(名古屋市北区)にある環境学習施設「あいち環境学習プラザ」及び愛・地球博記念公園(モリコロパーク)内にある「もりの^{まなびや}学舎」で、夏休み環境学習講座を開催しました。11日間で延べ20講座を開催し、小学生の親子を始め多くの方にご参加いただきました。

「あいち環境学習プラザ」では、外来生物を実際に見て学習できる講座、ソーラーカーの作成を通じて再生可能エネルギーへの理解を深める講座、実験しながら地球温暖化を学ぶ講座などを実施しました。



「外来生物講座」の様子 「ソーラーカーを作ろう！」の様子

「もりの^{まなびや}学舎」では、公園内を散策して自然に触れながら学習を行い、散策中に見つけた葉っぱや木の実を使って作品を作ることによって環境について学んでいただきました。



公園内を散策している様子

参加者の方からは「外来生物のことがくわしくわかった」「森で見つけたものが作品にできて嬉しい」などの声が聞かれ、楽しみながら環境への関心を高めていただくことができました。

環境調査センター 企画情報部
あいち環境学習プラザ
電話 052-908-5150 (ダイヤルイン)

東三河で親子バスツアーを開催しました



東三河総局環境保全課では、SDGsの観点から東三河地域の自然環境の保全と再生を目的とする「東三河環境SDGs推進事業」を実施しています。

今年度は事業の一環として、県指定天然記念物である「長の山^{ながのやま}湿原」を中心に生物多様性と地域の環境について学習する「湿原と河川の自然環境を学ぶ親子エコツアーin新城」を8月7日(日)に開催しました。

1 参加者数

17名

2 開催状況

午前中は新城市内の川で生き物調査を行いました。捕



生き物調査の様子

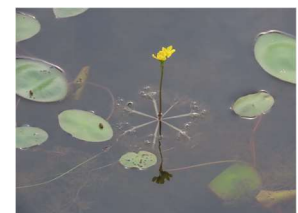
まえた生き物を教材に、流水域に生息する生き物と周辺環境の相互関係について学習しました。



長の山湿原の植物
(サギソウ)

午後からは長の山湿原の観察を行いました。湿地性の植物や止水域の生き物の観察を行い、生物多様性の保全には多様な環境の保全が必要であることを学習しました。

また、長の山湿原ではジオガイドによる地質学的な説明や、周辺の池に生育する特定外来生物のエフクレタヌキモの観察を行い、自然環境の保全について多面的な観点から学習を行いました。

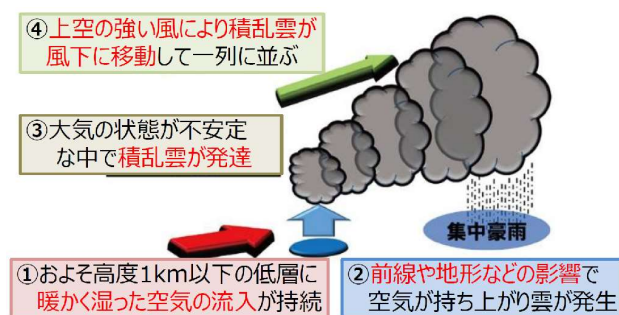


エフクレタヌキモ

東三河総局 環境保全課 環境保全グループ
電話 0532-35-6113 (ダイヤルイン)

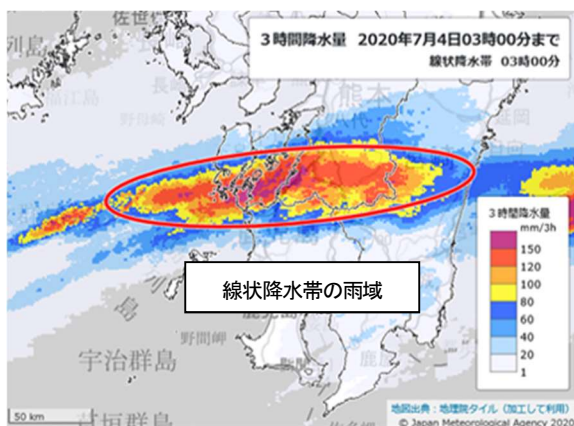
○ 線状降水帯発生への予測開始について

近年、線状降水帯による大雨によって頻繁に甚大な被害が引き起こされています。線状降水帯は、湿った空気の流入が持続することにより次々と積乱雲が発生し、線状の降水域が数時間にわたってほぼ同じ場所に停滞することで、大雨をもたらすものです。線状降水帯が発生すると、災害の危険性が高くなります。



線状降水帯の模式図 (気象庁 Web ページから引用)

2000年9月の「東海豪雨」では、線状降水帯が発生し、猛烈な雨が降り続けました。最近では、九州で発生した「令和2年7月豪雨」において、気象庁は、地球温暖化の進行に伴う長期的な大気中の水蒸気の増加により、降水量が増加した可能性があるとして発表しています。



線状降水帯の雨域の例
(気象庁 Web ページから加工して作成)

このような災害を引き起こす線状降水帯の発生について、気象庁は、早めの避難につなげるため、

6月1日から線状降水帯発生による大雨の可能性を予測し、半日前から情報提供を行う取組を開始しています。

これにより、「東海地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害の頻度が急激に高まる可能性があります。」といった呼びかけがされます。

線状降水帯発生による大雨の正確な予測は難しいため、この呼びかけだけでなく、他の大雨に関する情報や5月号で紹介した避難情報などと併せて行動につなげる必要があるとされています。

詳細については、気象庁 Web ページをご覧ください。

(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kishojohosenjoukousuitai.html>)



○ 気候変動対策「適応」の入門講座

国立環境研究所では、「気候変動対策「適応」の入門講座」を10月31日(月)までオンラインで開催しています。

受講は無料です。受講時間は、「週1時間程度×5週間」ですが、受講者個々のスケジュールで開始し、期限までに課題(選択形式のテストで得点率60%以上)を提出できれば、修了することができます。

差し迫る気候変動による影響やそれらに対する適応の取組について、第一線で活躍する国立環境研究所の研究者の方々から、具体的な事例に触れながら学べる貴重な機会です。是非、気候変動影響と適応策の学習にご活用ください。

詳細及び受講申込については、気候変動適応情報プラットフォーム(A-PLAT)のWebページをご覧ください。

(<https://adaptation-platform.nies.go.jp/everyone/study/gacco/index.html>)



環境調査センター 企画情報部
気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

省エネルギー設備・建築物 ZEB 化の導入を 支援するための補助金の交付申請を受け付けています



愛知県では、県内で事業を営んでいる法人及び個人事業主に対して、カーボンニュートラルの実現に資する省エネルギー性能の高い設備への更新、建築物の ZEB*化を支援する補助金の交付申請を受け付けています。

いずれの補助金も申込先着順とし、予算枠に達した場合は、受付期間にかかわらず交付申請書の受付を終了します。

* ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
省エネと再エネの活用によりエネルギー消費量を
正味でゼロにすることを目指した建築物

1 省エネルギー設備導入支援事業費補助金

(1) 補助対象設備

国の補助事業の交付決定を受けた次の設備

- ・ ユーティリティ設備 (高効率空調、業務用給湯器、高性能ボイラ、高効率ユーージェネレーション、低炭素工業炉、変圧器、冷凍冷蔵設備、産業用モータ、調光制御設備)
- ・ 生産設備 (工作機械、プラスチック加工機械、プレス機械、印刷機械、ダイカストマシン)

(2) 補助対象経費

設備費

(3) 補助率 (補助限度額)

国の補助金額の 1/2 (補助限度額 1,000 万円)

(4) 受付期間

12 月 28 日 (水) まで (締切日必着)

2 建築物 ZEB 化支援事業費補助金

(1) 補助対象設備

建築物の ZEB 化に資する建材や設備等の導入であり、国の補助事業の交付決定を受けたもの

(2) 補助対象経費

国の補助事業において補助対象となった経費から国の補助金額を控除して得た金額

(3) 補助率 (補助限度額)

補助対象経費の 1/2 (補助限度額 2,500 万円)

(4) 受付期間

11 月 30 日 (水) まで (締切日必着)

対象となる国の補助事業など、各補助金の詳細は、Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/saiene-syoene-hojokin.html>)



3 問合せ先 (県業務委託先)

(株)アイランド・ブレイン 名古屋本社

電話:052-747-7830

Eメール:saiene-shien-aichi@islandbrain.co.jp

4 その他

上記の補助金と並行して8月1日から交付申請を受け付けていた再生可能エネルギー設備導入支援事業費補助金については、予算枠に達したため、8月24日をもって受付を終了しました。

地球温暖化対策課 計画推進グループ
電話 052-954-6242 (ダイヤルイン)
活動支援グループ
電話 052-954-6887 (ダイヤルイン)

※ 掲載のイベントや講習会等は、新型コロナウイルス感染症などにより、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2022年9月5日発行(第316号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

蒸し暑い日が続いていますが、空模様や虫の音の中に少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。

感染症対策に配慮しながらにはなりますが、これからの季節は外に出かけて、家でのエアコン稼働時間を減らしたいと思います。マイボトル片手にスポーツの秋、クールシェアスポットの美術館で芸術の秋というのもいいですね。(企画・編集チーム)

※ 「環境かわら版」は、環境局 Web ページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>に掲載しています。

「あいちの環境」は右の QR コードからアクセスできます。

※ QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

